

「男女共同参画」についての共通認識を深めるために

中島美幸

1. 「ジェンダー平等」について、日本は後進国 G7で最下位

GGI (ジェンダー・ギャップ指数) —— 「男女平等」ランキング (世界経済フォーラム 2021.3)
 日本 120 位 / 156 カ国中 (前年 121 位) 《政治 147 位・経済 117 位・教育 92 位・保健 65 位》
 ・国会議員、経営管理職、専門職、高等教育在学率など、リーダーシップを発揮する場に女性少ない
 ・人口の半分である女性の能力を生かしていない = 人権問題であるとともに、社会全体の損失

2. 【人権】と「ジェンダー平等」

「男は仕事/女は家庭」の意識がまだ根強い。「男性稼ぎ主モデル」の制度
 コロナ禍で可視化された女性の困難 ・DV 相談 過去最多 ・失業、貧困 ・自殺 …

3. 【持続可能性】と「ジェンダー平等」

少子高齢化、総人口・労働力人口の減少 ※名古屋市 現在・人口増。若い女性流出(愛知県も)
 ➤ 人口減少 2021年8月1日 1億2530万人 → 2065年 8.808万人
 ➤ 15~64歳 2021年8月1日 7.409万人 → 2065年 4.529万人
 ➤ 高齢化率 2021年8月1日 29.0%(世界一) → 2065年 38.4%(世界一)
 ⇒ 高齢者1人を支える現役の数 2015年 2.3人→2023年 2.0人→2065年 1.3人 *1950年10.0人
 ➤ 少子化 出産で約4割の女性が退職。出生率低い→仕事か子育てか。キャリアの継続・発展困難
 「2025年問題」 団塊世代がすべて後期高齢者に → 現役世代 介護しながら働く人、介護離職
 「2040年問題」 団塊ジュニア世代が高齢者。高齢者最多、しかも貧困層増→行政運営が最も困難に

4. 【経済】と「ジェンダー平等」 ジェンダー平等が企業業績をアップさせる

※世界では女性の地位向上・女性活躍に力を

平成の30年間で日本は…

- ・日本の世界に占める GDP 9% → 4%
- ・世界トップ企業20社の内 日本企業14社 → 0社 (トヨタ 現在世界35位程)
- ・GAFAのようなユニコーン企業が誕生しなかった
- ・世界的にサービス産業が主流に。ユーザーの7割を占める女性のニーズを読めていない日本企業

5. 「ジェンダー平等」は、多様性の第一歩

多様性 (Diversity ダイバーシティ) **Diversity & Inclusion (D & I)** 多様な人が全員参加
 ・「女性活躍」はゴールではなく、目指すは「多様性」！
 →様々な人が活躍できる→多様な視点・価値観、アイデア→**フェアネス(公正、公平)**の高い組織・社会

◆アイスランド GGI 12年連続世界一。1980年・世界初の女性大統領。女性首相は現職で2人目
 ・コロナ禍で示した持続可能性 ← リーマンショックを女性活躍・多様性で乗り切った経験
 「女性がリーダーだから」というより、性別・年齢等を問わず能力が発揮することが当たり前の社会
 = 意思決定の場に多様性 = 過去の伝統や慣習からある程度脱却 = 柔軟性・寛容性の広がり
 = 多様性、全員参加 → 未来に向けて選択肢が多い ⇒ 「より平等な国こそより危機に強い」